

2018. 1. 29 (29-10)

1月号

# 水辺のふるさと かつしか

自然環境レポーター通信



題名 : セグロセキレイ

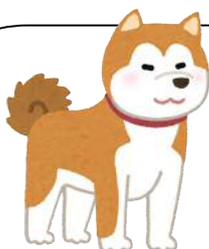
撮影場所 : 水元公園

写真提供 : 高橋 雅子さん

# 水辺のふるさとかつしか 1月号

## 目次

1	区内で見られる55種の動植物	.....	P 1~3
2	自由レポート	(調査区1) 弥生さくら草さん	P 4~5
		(調査区3) R Y Uさん	P 6
		Rさん	P 7
		藤並 剛さん	P 8~9
		(調査区5) K. Nさん	P 10
		佐々木 定治さん	P 11~12
		鳥好き植木職人さん	P 13
3	魚からの便り—245	.....	P 14~15
4	今月の1枚	.....	P 16~17
5	資源・エネルギーチェック票の報告結果	.....	P 18
6	環境課からのお知らせ	.....	P 19



## —編集担当より—



12年サイクルである干支の今年は戌年。何が起きているかなと調べてみると、異常気象が多いことがわかりました。

前回の戌年は2006(平成18)年。前年の12月からこの年の1月にかけて、日本海側で記録的な大雪になり「平成18年豪雪」と名付けられました。

その前は1994(平成6)年ですが、4月から全国的な高温と小雨が続き、夏は「観測史上最も暑い夏」(当時)と言われました。給水制限や断水が行われた地域も多く、12月には「三陸はるか沖地震」(M7.6)が発生しました

1982(昭和57)年は、長崎県を中心とした記録的な豪雨「昭和57年7月豪雨」がありました。

1970(昭和45)年は、春先が全国的に低温傾向、西日本では梅雨が長引き、梅雨明け後は全国的に暑さが厳しくなりました。大きな自然災害はありませんでしたが、日本赤軍の「よど号」ハイジャック事件などが目立ちました。

また、干支の中でも台風の発生回数もっとも多く(28.2個。平年は25.6個)、日照時間は干支中最も少ない(1968.4時間。日照時間の一番長い丑年と比べると10日分少ない)結果となっています。今年はどうなることやら・・・。

(斉藤)

12月 生物指標・ 観察集計表		奥戸	新小岩	東新小岩	西新小岩	青戸	立石	東立石	東四つ木	四つ木	白鳥	亀有	西亀有	小菅	堀切	東堀切	お花茶屋	宝町	高砂	鎌倉	細田	柴又	新宿	金町	金町浄水	東金町	水元	水元公園	東水元	南水元	西水元	時期・特徴など
野	1	コアジサシ				4		2																								上旬・中旬・下旬/
	2	ツバメ																														上旬・中旬・下旬/
	3	オオヨシキリ																														上旬・中旬・下旬/
	4	コガモ					6		9		7																2				上旬・中旬・下旬/	
	5	ツグミ																														上旬・中旬・下旬/
	6	ウグイス							1																							上旬・中旬・下旬/
	7	コサギ					1	1	1	2	1	1	1																			上旬・中旬・下旬/
	8	カワセミ																														上旬・中旬・下旬/
	9	コゲラ																														上旬・中旬・下旬/
	10	シジュウカラ							2			4											3	1		1						上旬・中旬・下旬/
昆虫	11	ギンヤンマ																														上旬・中旬・下旬/
	12	アキアカネ															1															上旬・中旬・下旬/
	13	オオカマキリ																														上旬・中旬・下旬/
	14	エンマコオロギ																									多					上旬・中旬・下旬/
	15	カンタン																														上旬・中旬・下旬/
	16	トノサマバッタ																														上旬・中旬・下旬/
	17	クマゼミ																														上旬・中旬・下旬/
	18	アブラゼミ																														上旬・中旬・下旬/
	19	ツクツクボウシ																														上旬・中旬・下旬/
	20	ミンミンゼミ																														上旬・中旬・下旬/
	21	ニイニイゼミ																														上旬・中旬・下旬/
	22	ヤマトタムシ																														上旬・中旬・下旬/
	23	ナガサキアゲハ																														上旬・中旬・下旬/
	24	クロアゲハ																														上旬・中旬・下旬/
	25	ナミアゲハ																														上旬・中旬・下旬/
	26	テングチョウ																														上旬・中旬・下旬/
	27	ツマグロヒョウモン										1																				上旬・中旬・下旬/
	28	アカボシゴマダラ																														上旬・中旬・下旬/

数値…レポーターが確認した個体数の合計(数えきれない場合には“多”で表示) 上旬 1日～10日 中旬 11日～20日 下旬 21日～30(31)日

12月 生物指標・ 観察集計表		奥戸	新小岩	東新小岩	西新小岩	青戸	立石	東立石	東四つ木	四つ木	白鳥	亀有	西亀有	小菅	堀切	東堀切	お花茶屋	宝町	高砂	鎌倉	細田	柴又	新宿	金町	金町浄水	東金町	水元	水元公園	東水元	南水元	西水元	時期・特徴など	
植	29	アカメガシワ						多																1								上旬・中旬・下旬/	
	30	スギナ																														上旬・中旬・下旬/	
	31	ナガミヒナゲシ																														上旬・中旬・下旬/	
	32	シロツメクサ																														上旬・中旬・下旬/	
	33	スズメノエンドウ																														上旬・中旬・下旬/	
	34	イモカタバミ						多			多	多																				上旬・中旬・下旬/	
	35	アレチウリ						多																								上旬・中旬・下旬/	
	36	セリ																														上旬・中旬・下旬/	
	37	オオバコ																															上旬・中旬・下旬/
	38	オオキンケイギク																															上旬・中旬・下旬/
	39	カントウヨメナ																															上旬・中旬・下旬/
	40	カントウタンポポ																															上旬・中旬・下旬/
	物	41	ソユクサ																					3									上旬・中旬・下旬/
		42	ジュズダマ																						1		2						上旬・中旬・下旬/
43		ススキ																								4						上旬・中旬・下旬/	
ほ乳	44	アライグマ																														上旬・中旬・下旬/	
	45	ハクビシン																														上旬・中旬・下旬/	
は虫	46	ミシシippiaアカミガメ	1							3																						上旬・中旬・下旬/	
	47	ニホンカナヘビ																														上旬・中旬・下旬/	
両生類	48	ニホンアマガエル																														上旬・中旬・下旬/	
	49	ニホンアカガエル																														上旬・中旬・下旬/	
	50	ウシガエル																														上旬・中旬・下旬/	
クモ	51	コガネグモ																														上旬・中旬・下旬/	
	52	ジョロウグモ																														上旬・中旬・下旬/	
魚類	53	メダカ																														上旬・中旬・下旬/	
	54	ブルーギル																														上旬・中旬・下旬/	
底生	55	ベンケイガニ																														上旬・中旬・下旬/	

数値…レポーターが確認した個体数の合計(数えきれない場合には“多”で表示) 上旬 1日~10日 中旬 11日~20日 下旬 21日~30(31)日

集計人数 8名

※ 12月の調査では、55種のうち 15種が確認されました。

その他の自然観察について(本文掲載以外・敬称略)

日付	生物名	場所	調査者	個体数	事項
11/7	モンシロチョウ	東堀切	RYU	3	○
11/8	オナガ	お花茶屋	RYU	4	○
11/9	オンブバッタ	お花茶屋	RYU	2	○
11/15	ゴイサギ、ピラカンサ、バン	水元公園	田村 ひろ子	1、1、1	○
11/15	カワウ、ダイサギ、ヒドリガモ	水元公園	田村 ひろ子	1、1、1	○
11/25	マガモ、ハト、コイ、スズメ	白鳥	R	2、20、4、20	○
12/1	ビワ、ハクセキレイ	砂原第三公園	荒井 敏夫	1、1	○
12/2	スズメ、ヒヨドリ、キジバト	東部地域病院周辺(亀有5)	藤並 剛	多、多、1	○
12/2	イトトンボ、ギンヤンマ、シオカラトンボ	奥戸1	鍵谷 哲也	多、多、多	○
12/2	マツモムシ	奥戸1	鍵谷 哲也	多	○
12/3	ヒドリガモ、オオバン、ダイサギ	水元公園	藤並 剛	多、多、1	○
12/3	アオサギ、ムクドリ、スズメ	水元公園	藤並 剛	1、多、多	○
12/3	カルガモ、ナナホシテントウ	水元公園	藤並 剛	多、1	○
12/3	ツツレサセコオロギ	水元公園	藤並 剛	多	○
12/3	ヨコヅナサシガメ	水元公園	藤並 剛	1	○
12/3	マガモ	白鳥	R	3	○
12/3	メジロ	青戸3	森本 龍司	4	○
12/4	ヒヨドリ	青戸4	森本 龍司	多	○
12/5	キンクロハジロ	小菅1	石鍋 壽一	5	○
12/6	ハクセキレイ、ヒヨドリ	青戸4	森本 龍司	1、多	○
12/10	セイヨウタンポポ、アカツメクサ	中川橋周辺(亀有3)	藤並 剛	2、多	○
12/10	オナガドリ	青戸4	森本 龍司	2	○
12/12	スズメ、ヒヨドリ、オッタチカタバミ	東部地域病院周辺(亀有5)	藤並 剛	多、多、多	○
12/12	ヒメツルシバ	東部地域病院周辺(亀有5)	藤並 剛	多	○
12/13	トウネン	小菅荒川船着場	石鍋 壽一	1	○
12/15	アオサギ	青戸4	森本 龍司	1	○
12/16	アオジ	小菅荒川船着場	石鍋 壽一	1	○
12/16	メジロ、ミズヒキ	小菅3	石鍋 壽一	3、3	○
12/16	ムクドリ、ヒヨドリ	亀有4	荒井 敏夫	5、4	○
12/18	スズメ、ムクドリ、ハクセキレイ	中川橋周辺(亀有3)	藤並 剛	多、多、1	○
12/18	セグロセキレイ、オオバン、カワウ	中川橋周辺(亀有3)	藤並 剛	1、4、6	○
12/18	ムクドリ、ヒメツルシバ、セイヨウタンポポ	中川橋周辺(亀有3)	藤並 剛	多、多、多	○
12/18	メジロ	亀有4	荒井 敏夫	4	○
12/19	ヒドリガモ、オオバン	小菅荒川	石鍋 壽一	5、5	○
12/20	十月桜	亀有1	荒井 敏夫	3	○
12/20	ハクセキレイ	庭先	田村 ひろ子	1	○
12/22	キンクロハジロ、ホシハジロ	綾瀬川水戸橋北	石鍋 壽一	16、4	○
12/24	スズメ、ヒヨドリ、ハクセキレイ	東部地域病院周辺(亀有5)	藤並 剛	多、多、1	○
12/24	オッタチカタバミ、ヒメツルシバ、サザンカ	東部地域病院周辺(亀有5)	藤並 剛	多、多、多	○
12/25	スズメ	亀有4	荒井 敏夫	多	○
12/26	ゴイサギ、スズメ、ウラジロ	中川沿い	高橋 雅子	1、多、多	○
12/26	セイヨウタンポポ、ノゲシ、イヌフグリ	中川沿い	高橋 雅子	多、多、多	○
12/26	エノコログサ、ギシギシ	中川沿い	高橋 雅子	多、1	○
12/26	ユリカモメ、ヒヨドリ	中川沿い	高橋 雅子	6、2	○
12/28	ハト、コイ、スズメ	白鳥	R	20、5、25	○
12/30	スズメ、アキノエノコログサ、メヒシバ	金町公園	T. T	3、5、多	○
12/30	カタバミ、ノゲシ、オカメザサ	金町公園	T. T	多、3、多	○
12/30	ヒメオドリコソウ、ホトケノザ	金町公園	T. T	多、多	○

寒々とした景色である。木々の梢は黒々としている。取り残された柿がところどころ残っている。今冬は格別寒い。こんな気候が続いたならば干し柿はばっちり出来ただろうか....。数年前に渋柿を夢中で剥いて干し、それらの出来上がりを待っていた日々が甦った。生憎暖冬のため緑色の<sup>かび</sup>黴が発生し楽しみが挫折してしまった。それ以来毎年秋になると思い出すのだ。手作りの干し柿は例えようもないほど美味だったから。

山のように積って掃き寄せるのに苦労した落ち葉は、今はすっかり梢には一葉もない。

正月を彩る千両の赤い実は艶々と色が冴えている。千両は多数あるから、言葉通りならば大金持ちであると苦笑する。架空の話でも胸が膨らむ。千両を生けて観賞しても長持ちすることは、驚くほどで他に類を見ない仏壇に、墓参に、正月用の生花にも友人にも差し上げて好評で千両の名に恥じないから呼び名が相応しいと思う。

春、夏、秋それぞれの季節に咲いて散っていった様々の植物は今、じっと耐えている。冬来たりなば、春遠からじである。

平成 30 年 1 月 1 日



氏名	RYU	調査区	3	12月
----	-----	-----	---	-----

## 1年の終わりに



左は、上旬の西亀有せせらぎ公園です。すっかり落葉している樹が多い中、まだ頑張ってる葉を残している樹もありました。

中央は、室内で見つけた季節外れのアキアカネです。

右は、冬の紫陽花です。ドライフラワーになったまま、暖くなる日を待っているようです。



左は、バナナの木だと思われます。この辺りでも実がなるのでしょうか。来年の夏頃にまた、見にいってみようと思います。

中央は、スイセンです。ヒガンバナ科とは知りませんでした。

右は、猫のひなたぼっこです。下町っぽい雰囲気がいいですね。

氏名	R	調査区	3	12月
----	---	-----	---	-----

## 曳舟川親水公園生き物調査 27



池の水が澄んでいてきれいでした。

カメは冬眠し、カモは外出中だったので、この日はコイだけしかいませんでした。



恒例の、勝手に観察樹です。  
左の写真が11月、右の写真が12月です。

季節が秋から冬に変わると一気に葉が落ちました。来年の観察樹は柳に変更しようと思っています。

氏名：藤並 剛 町名：亀有 調査区：3

12月2日(土)午後2時頃、天気は晴れ(風あり)、気温は11度くらい。亀有5丁目の東部地域病院周辺。野鳥は、スズメ、キジバト(1)、ヒヨドリを見つけた。植物は、サザンカの花(赤・白)が咲いていた。カツラ、サクラの葉はすべて落ち葉となった。ケヤキ、モミジは紅葉し、散り始めた。

12月3日(日)午後2時から午後4時まで、天気は晴れ(風なし)、気温は15度くらい。都立水元公園元水産試験場周辺。ESD-KA主催の自然観察会で、講師は佐々木洋氏だった。参加者は、39名(大人20名、子ども19名)とスタッフ8名でした。野鳥は、ヒドリガモ、オオバン、ダイサギ、アオサギ(1)、ムクドリ、スズメ、カルガモなどを見つけた。昆虫は、ナナホシテントウ(1)、エンマコオロギ、ツツレサセコオロギ、ヨコヅナサシガメ(1)などを見つけた。オオカマキリの卵も発見した。植物は、シラカシ・クヌギ・コナラのドングリを見つけ、紅葉したニシキギを観察した。ケヤキ、イチョウ、コナラなどの木々の紅葉が素晴らしく綺麗だった。観察会では、子どもの背丈ほどのアオサギを7~8メートルほどで観察でき、親子共ども感動した。晩秋・初冬の紅葉を楽しむことが出来た。(詳しくは、メジロの会のブログ【メジロの会通信】で検索し、確認して下さい)

12月10日(日)午後2時頃、天気は晴れ(風なし)、気温12度くらい。亀有3丁目の中川橋周辺。野鳥は、スズメ、ヒヨドリを見つけた。植物は、イチョウが黄葉し、ケヤキやメタセコイヤは落葉した。セイヨウタンポポ(2)、ホトケノザ(開花)、アカツメクサを見つけた。

12月12日(火)午後1時頃、天気は晴れ(風なし)、気温は10度くらい。亀有5丁目の東部地域病院周辺。野鳥は、スズメ、ヒヨドリを見つけた。植物は、イチョウ、サクラ、ケヤキ、プラタナスは落葉し、モミジ・メタセコイヤは紅葉した。オッタチカタバミ、ヒメツルソバの花が咲いていた。サザンカは満開だった。

12月18日(月)午前10時頃、天気は晴れ(風なし)、気温は5度くらい。亀有3丁目の中川橋周辺。野鳥は、スズメ、ヒヨドリ、ハクセキレイ(1)、セグロセキレイ(1)、オオバン(4)、カワウ(6)、ムクドリを見つけた。植物は、ヒメツルソバ、セイヨウタンポポ(5)を見つけた。ドウダンツツジの紅葉が綺麗でした。

12月24日(日)午前10時頃、天気は曇り(風少し有)、気温は5度くらい。亀有5丁目の東部地域病院周辺。野鳥は、スズメ、ヒヨドリ、ハクセキレイ(1)を見つけた。植物は、オッタチカタバミ、ヒメツルソバの花が咲いて

いた。メタセコイヤなど全ての落葉樹の葉は落ち葉となった。サザンカの花がクリスマスイブの今日、一番綺麗であった。

今年も天候不順の年だった。世界の気候が変動し、台風・暴風雨などで自然災害が多数起きてしまった。来年も、どんな環境になろうが、地域の自然と子どもを守るために精一杯頑張りたいと思う。(2017年12月24日)

氏名	K・N	町名	東金町	調査区	5
自分で指定（観察地内の植物と昆虫・指定種中心）鳥類は大橋周囲～小合溜を観察					
29年	西洋タンポポ2・しろつめ・つゆ草など0・小合溜周囲の野鳥				
12/8	・カワウ15・アオサギ1・ユリカモメ50・カモ類370程度				
12/28	西洋タンポポ0・他の花0・小合溜周囲の野鳥				
	・カワウ10・コサギ1・アオサギ1・ユリカモメ30以上・カモ類530程度				

1. 観察地の桜「ソメイソシノ」は、じわじわ世代交替の時期のようで、切り株を見つけた。第二駐車場側は、若木が数本育っている。株の年輪は数えれば年齢がわかりそうだが、難しい。  
このかいわいは植えた時期が近いのか、根元の株が地上で根曲がりの強いものも見かける。  
さらに、今も元気に咲いている桜の枝だが、柵によりかかって肘を付いているように伸びているのが面白い。今年の関東は雨が降らず、寒暖差が激しいせい  
か、「西洋たんぽぽ」や「のびる」などの花がまったく見られず、観察対象が切り株になったが、参考になった。



# 自然観察レポート29年12月の巻 佐々木定治 調査区5

## 年の暮の協奏曲は美しく



12月11日 水元公園 ハゼ



ボケ



カイツブリ



12月27日 水元2丁目 フユザクラ



12月29日 水元2丁目 自宅庭 パンジー



ノースポール

今年も混迷の年だったように思います。今年の記憶に残っている印象的な言葉は、「村度・節目・北・インスタ映え・新年号」です。そんな混沌とした時代をよそに、12月の中旬には、ハゼの見事な赤、12月の寒さを喜んでいるかのように花開くボケの桃色。我が家の庭では、種から育てたパンジーやノースポールが春待ち顔で咲いています。我が家のすぐ近くにある入谷公園のフユザクラは11月の初めから咲き始めます。都立水元公園の水辺では多くの水鳥が遊んでいました。カイツブリが集団で食事の最中でした。この自然の恩恵に感謝脱帽です。

# 今年もありがとうの感謝年かな



12月30日 水元2丁目 スイセン



12月30日新年の準備完了



12月31日 ↑水元5丁目 新年を迎える氏神様  
雪模様の水元の大晦日↓



今年も自然観察しながら、この1年に感謝して振り返っています。よき日本の伝統文化は、日々の暮らしの中に、豊かな自然からの恩恵を受けて、自然と共に息づいています。新年を迎える準備をしながら、鏡もちも、しめ縄も松飾りも、簡素化された玄関戸口の謹賀新年掲示も、自然との関わりの中で暮らしていることを再認識させてくれます。

くしくも12月31日の午後、ほんの少し水元では雪が落ちてきました。ゆく年くる年に思いめぐらし感謝！



氏名	鳥好き植木職人	町名	西水元	調査区	5
主な観察場所	中川左岸西水元水辺の公園～常磐線陸橋。区内の庭				
得意分野	野鳥及び植物	レポート no39			

### 今年のカモは少ないカモ？

今年も北からカモ達がやってきました。しかし、ここ中川では今年例年の半分位ではないかと思えます。去年は 100 羽程見ましたが、今のところ数十羽です。

北からの飛来を三年前にその姿を見ました。12 月上旬、中川の空高く 100 羽ほどの群れが南に向かって編隊を組んで飛んできました。私の頭の上で二、三回旋回し降りるかと思いましたが結局南に向かってしまいました。今年はまだ来るかもしれない、と淡い期待をしています。



### 秋の菊と春の水仙が見られました

一月上旬の庭の写真です。菊の花と水仙が咲いています。本来、菊はとっくに見頃は過ぎていますが何と無く放置してきました。水仙は例年の通り確実に白と黄色の花を咲かせました。菊の葉は枯れ花も枯れそうですが、写真に入らない他の菊は半分咲かせ「まだまだ」と言っているようです。



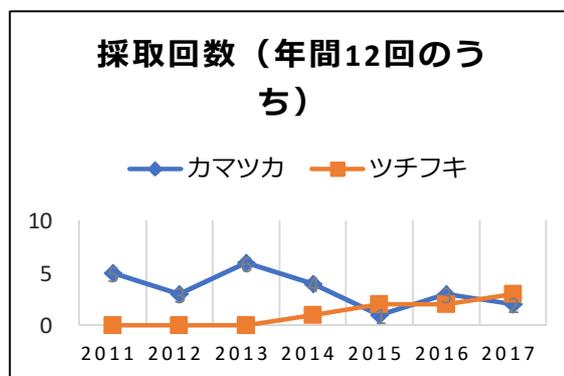
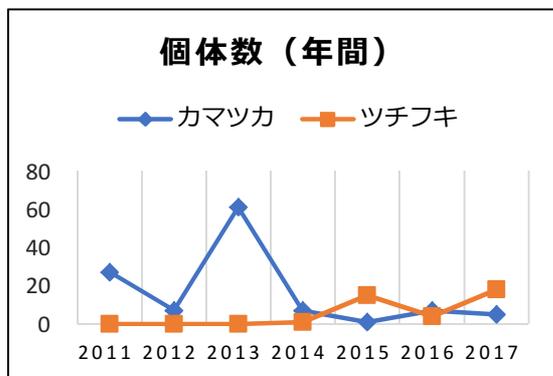
## 葛飾柴又新八水路 魚からの便り-244

調査回数 調査日 地点		247			備 考
		2017/12/3			
		本流	新八水路	新八ワンド	
1	カ ダ ヤ シ		62 10-37	28 11-26	
2	ギ ン ブ ナ		2 45-58		
3	タイリクバラタナゴ		8 13-25		
4	ニ ゴ イ	1 61			
5	メ ダ カ		39 18-28	6 9-18	
6	モ ツ ゴ		4 23-39		
計		1種類1個体	5種類115個体	2種類34個体	

- ・ 上段の数字は個体数、下段の数字は全長の最小-最大範囲（単位：mm）
- ・ 江戸川本流、新八水路、新八ワンドあわせて6種類150個体の魚類が採集されました。
- ・ 晴れ 気温12.9℃、水温 本流10.3℃、新八水路11.5℃、新八ワンド10.8℃（15時頃測定）

### 【参加者コメント】

- ・ ご夫婦としては初めて参加した女性が本流で唯一のニゴイ1尾を午前中に採集した。これには新八の投網衆一同目の色を変え、水没も厭わず頑張った名人も含め、何も採れなかった。水位が高く、手網でも採集物が無かった。来月からはさらに条件がきつくなる。人が少ないと特に大変だ。(YK)
- ・ 川に一匹も魚がいないのか網の穴から逃げているのか自分の腕が悪いのかと、いろんなことを考えながら打つ季節になりました。(KI)
- ・ 1.2月を彷彿とさせる程の寒さでした。今日は網がよく広がってくれて嬉しかったです。(E大KI)
- ・ 半年ぶりの参加でした。ウシガエルのオタマジャクシが採れてモチベーションがあがる1日となりました。(AO)
- ・ 見た目が似ているけど生息域が異なる「カマツカ」と「ツチフキ」の出現状況を調べてみた。7年間のデータだけど、カマツカは減少傾向、ツチフキは増加傾向。(SI)



【今後の調査日】 【2018年】 1月27日（土） 2月24日（土） 3月24日（土）

HP ( <http://shigenori1.jimdo.com/> )

【編集：一澤成典】



# 今月の1枚



「セグロセキレイ」

29/12/28 水元公園

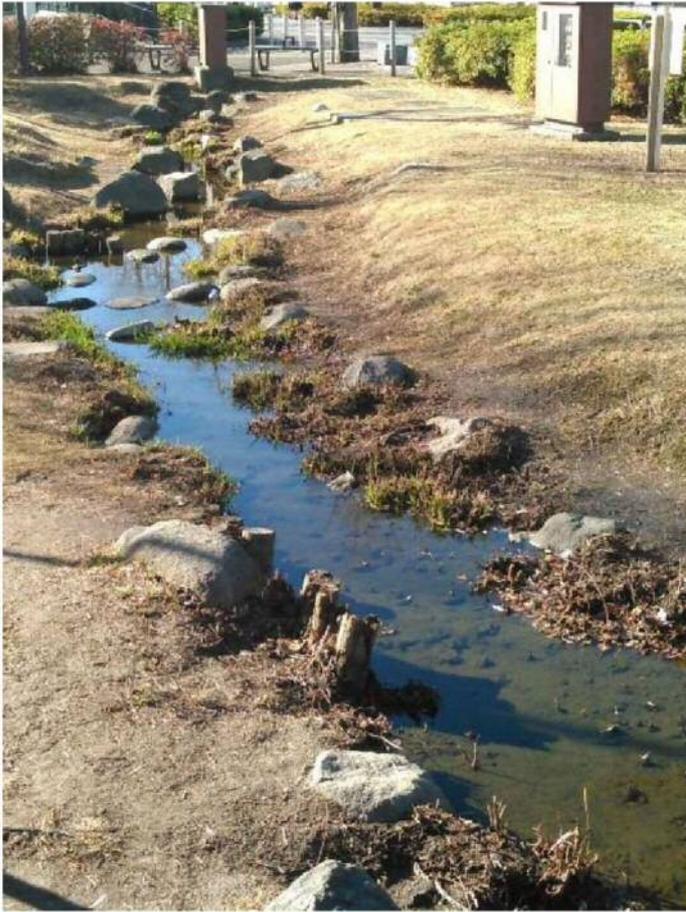
撮影 高橋 雅子さん



「満開」

29/12/26 お花茶屋

撮影 RYUさん



「川」

29/12/28 曳舟川親水公園

撮影 Rさん

## 12月 資源・エネルギーチェック票の報告結果

家族構成		電気	ガス(都市ガス)	水道	二酸化炭素
大人	子供	Kwh×0.42	m <sup>3</sup> ×2.21	m <sup>3</sup> ×0.2	排出量
2	0	57.54	88.40	0.00	145.94
1	0	53.76	55.25	3.20	112.21
2	0	73.50	19.89	0.00	93.39
2	1	14.70	0.00	1.00	15.70
2	1	13.86	0.00	0.00	13.86
3	0	336.84	92.82	6.20	435.86
2	0	59.64	324.87	0.00	384.51
4	0	155.82	212.16	0.00	367.98
4	0	300.3	152.49	0.0	452.79
5	0	75.60	117.13	2.90	195.63
2	0	34.02	53.04	0.00	87.06
2	0	121.80	176.80	0.00	298.60
2	0	83.16	19.89	2.6	105.65
4	0	222.18	123.76	0.00	345.94
2	0	62.16	17.68	0.00	79.84
2	0	59.64	324.87	0.0	384.51
2	1	28.56	0	1.0	29.56
3	0	399.84	56.58	0.00	456.42
46	3	2152.92	1835.63	16.9	4005.45
平均(1家族)		239.21	203.96	1.88	445.05
一人あたりの平均		97.86	83.44	0.77	182.07

< 12月の二酸化炭素の排出量 >

\* 一人あたりの平均は182.07kg』です。

お出かけは、できるだけ公共の交通機関を利用しましょう。

## 環境課からのお知らせ

自然環境係 電話5654-8237(直通)

### ☆新八水路で魚類調査を行います

日時 2月24日(土) 3月24日(土) 10:00~15:00

場所 江戸川河川敷 寅さん記念館下まで直接お越しください。

持ち物 着替え、昼食、飲み物、首に巻くタオル、短くないソックス

詳しくは、HP (<http://shigenori1.jimdo.com/>) 【新八水路】で検索!



### ☆自然観察会を開催します

日時 3月3日(土) 10:00~12:00

受付 9時45分から曳舟川親水公園連光寺前

場所 曳舟川親水公園(連光寺前一郷土と天文の博物館)、白鳥集い交流館

講師 水元ネイチャープロジェクト 中島 幸一氏

費用 保険料 50円

持ち物 筆記用具、飲み物



自然環境レポーターを対象に研修会を行います。今回は曳舟川親水公園沿いを歩きながら街中の自然観察の要点を押さえながら植物の「今」を感じてみませんか。最後に白鳥集い交流館で質問時間も設けますので是非ご参加ください。

\*2月23日(金)まで出欠のご連絡を環境課までお知らせください。詳しくは同封しているチラシをご確認ください。

### ☆俄博士発表会に参加しませんか

6月に開催される環境・緑化フェアで俄博士発表会を行う予定です。内容はレポーターさん自身の得意分野を好きなように発表していただいても構いません。気になる方は、2月16日(金)までに環境課自然環境係までご連絡ください。

発表の様子↓



発表内容例↓



「水辺のふるさと・かつしか」第 298号  
(葛飾区 自然環境レポーター通信第250号)

平成30年1月29日 発行

葛飾区環境部環境課

〒124-8555 葛飾区立石5-13-1

TEL(3695)1111 内線3522~3

直通電話 (5654)8237

fax (5698)1538

「水辺のふるさとかつしか」の内容について、お間違い等お気づきの点がありましたらお知らせください。次号にて訂正いたします。